

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	文書番号	391
	決裁期日	平成29年1月31日
名 称	平成28年度 第2回介護保険事業運営協議会並びに地域包括支援センター運営協議会	
日 時	平成29年1月31日 14時00分～15時30分	
場 所	保健福祉総合センターかみん 研修室	
出席者	委員10名、事務局3名（別紙のとおり）	
内 容	<p>14:00 開会</p> <p>事務局より協議会委員の任命について説明。渡辺会長が民生児童委員協議会任期満了に伴い退任。残任期を民生児童委員協議会濱本会長に委嘱(委嘱状交付)。</p> <p>併せて互選により濱本委員を本会の会長に選任する。</p> <p>(以降進行は濱本会長)</p> <p>【議題1】 新たな地域支援事業の概要について</p> <p>事務局より新しい総合支援事業について概要を説明</p> <p>(質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者負担はどう変わるのか⇒⇒利用者負担と併せて事業者の収入の面でも現状と変わらないよう設定したい。 ・介護保険利用者負担の今後の見通しは⇒⇒高額所得者については H27 より2割負担導入された。収入に応じた負担増は今後も拡大する可能性がある。 ・市町村の裁量大きい。上富良野町に住んで良かったと言われる事業展開を。 <p>【議題2】 地域密着型サービスについて</p> <p>事務局より利用状況、実地指導等の実施状況、認知症グループホーム公募の状況について説明。</p> <p>(質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このままGHの応募なければどうなるのか⇒⇒応募条件を検討の上再募集となる見込み。 ・ほ一ふの未指定1ユニットの取扱いは⇒⇒1ユニットの指定も視野に検討。先方の意向については未確認。 ・ほ一ふは現在満床だが改善の要因は⇒⇒スタッフの定着、平均要介護度の安定などが考えられる。 ・<ふくしんの運営について>・利用者数低迷の要因は。民間に任せるべきでは ・民間事業者は利用者確保に工夫を凝らし努力している ・利用者が町外に流れている。家族との関係性をしっかり作らなければならない <p>【議題3】 第7期介護保険事業計画の策定について</p> <p>事務局より策定スケジュール等について説明</p> <p>(質疑)</p> <p>アンケート実施内容と回収方法は⇒⇒前回同様の内容が主となる。回収についても前回同様、高齢者実態調査時に民生委員各位に協力を仰ぐ予定。</p>	

【議題4】 介護予防支援事業の委託について

新規2事業者について承認

- ・オストケア介護相談サービス(札幌市)
 - ・大西病院居宅介護支援センター(旭川市)
- 異議なし、承認する。

【その他】

- ・独居高齢者のうち認知症の高齢者の対応は⇒⇒高齢者実態調査で把握し個別に対応している。
- ・(社協より)2月10日に認知症カフェを開催。広く参加いただき認知症の理解を深めたい。
- ・地域で高齢者見守り用のGPS装置の話題になっている。

次回協議会は4月下旬を予定。次年度は計画策定年度であり会議回数が増える。負担大きくなる
がご協力をお願いしたい。

(15:30 閉会)